Canon

キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90005

受付時間：平日 9:00〜20:00
土・日・祝日 10:00〜17:00
（1月1日〜1月3日は休ませていただきます）

※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9630をご利用ください。
※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

別紙でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノン株式会社
http://canon.jp/bebit/

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 デジタルカメラ製品情報
http://canon.jp/dc/

キヤノンサポートページ
http://canon.jp/support/

CANON iMAGE GATEWAY
http://www.imagegateway.net/

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

CDI-J308-010　　XXXXXXX　　PRINTED IN JAPAN

Canon

キヤノンデジタルカメラ

PowerShot TX1

カメラユーザーガイド

はじめにお読みください

本書では、カメラの準備や基本的な使いかたを説明しています。

BUBBLE JET DIRECT

ガイドの使いかた

以下のガイドが用意されています。必要に応じてお読みください。

付属品・別売品を確認する → システムマップ

各部の名称を確認する

準備する
- バッテリーを充電する
- バッテリー、メモリーカードを入れる
- 日付/時刻、言語を設定する

撮影する
再生 / 消去する

メニューの表示 / 設定方法

→ カメラユーザーガイド 基本編（本書）
* はじめにお読みください

取り扱い上のご注意、撮影や再生のいろいろな機能を確認する → カメラユーザーガイド 応用編

印刷する → ダイレクトプリント ユーザーガイド

- ソフトウェアをインストールする
- パソコンに画像を取り込む
- ソフトウェアを使う

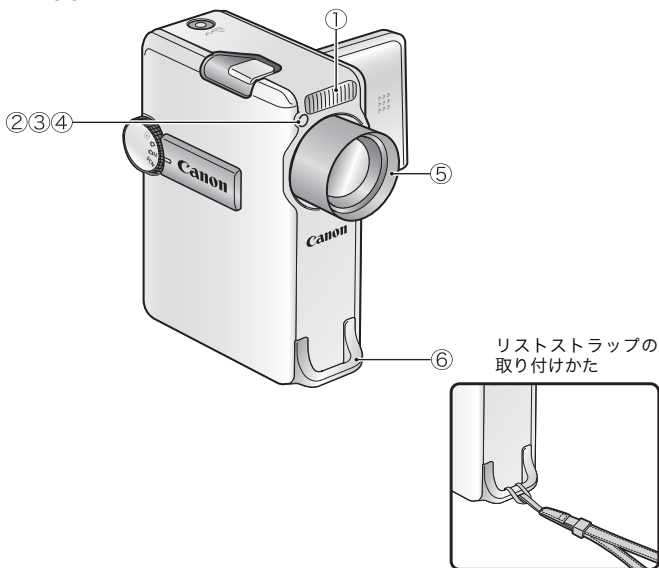
→ カメラユーザーガイド 基本編（本書）
→ ソフトウェア クイックガイド
→ ZoomBrowser EX/ ImageBrowser ソフトウェアガイド

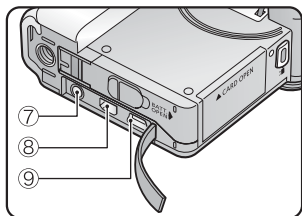
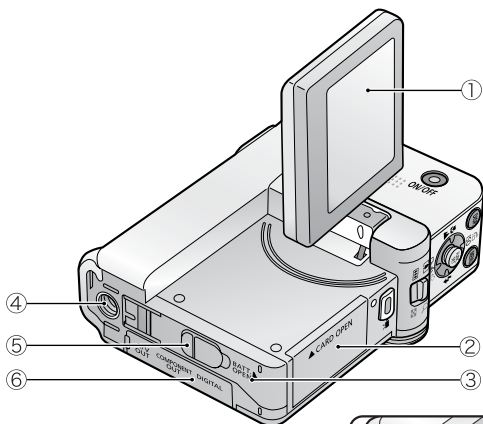
付属のメモリーカードでは、このカメラの性能を十分に発揮できない場合があります。

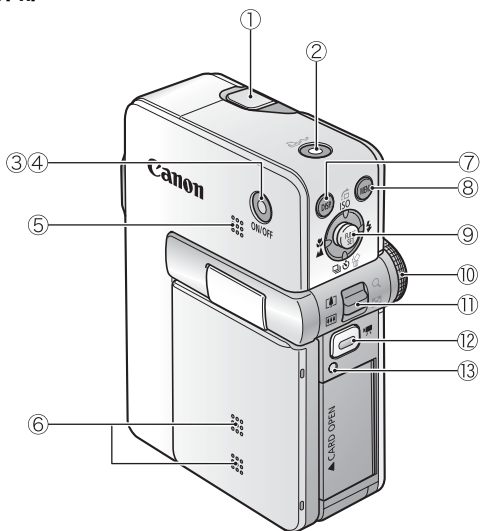
各部の名称

■前面

リストストラップの取り付けかた

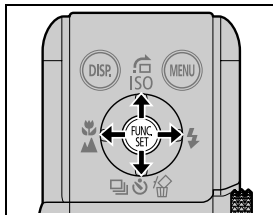
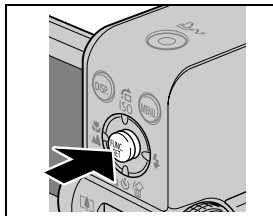
①ストロボ（p. 14）
② AF 補助光投光部（応用編 p. 24）
③赤目緩和ランプ（応用編 p. 36）
④セルフタイマーランプ（p. 16）
⑤レンズ
⑥リストストラップ取り付け部

カメラをお使いになるときは、落下防止のため、リストストラップの装着をおすすめします。

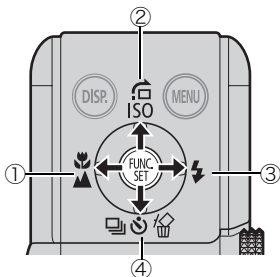
■背面

①液晶モニター（応用編 p. 12、応用編 p. 14）
②メモリーカードスロットカバー（p. 7）
③バッテリーカバー（p. 6）
④三脚ねじ穴
⑤ DC カプラー端子カバー（応用編 p. 131）
⑥端子カバー
⑦ A/V OUT（映像 / 音声出力）端子（応用編 p. 100）
⑧コンポーネント端子（応用編 p. 100）
⑨ DIGITAL（デジタル）端子（p. 27）

■操作部

①シャッターボタン（p. 10）
②（イージーダイレクト）ボタン（p. 22、p. 30、応用編 p. 66、応用編 p. 67）
③電源スイッチ（p. 10）
④電源ランプ（バッテリー残量低下時、点滅します。）
⑤スピーカー
⑥マイク（応用編 p. 40、応用編 p. 88、応用編 p. 90）
⑦ DISP.（ディスプレイ）ボタン（応用編 p. 12）
⑧ MENU（メニュー）ボタン（p. 21、応用編 p. 23）
⑨マルチコントローラー（FUNC./SET）（p. 4）
⑩モードダイヤル（p. 10、p. 11）
⑪ズームレバー（p. 13、応用編 p. 74）
撮影時：（広角）/（望遠）
再生時：（インデックス）/（拡大）
⑫動画ボタン（応用編 p. 39、応用編 p. 99）
⑬ランプ（p. 5）

■マルチコントローラー

メニューや機能を選んだり、決定したりするときに使います。

マルチコントローラーを上下左右に動かすことを、「マルチコントローラーを ▲/▼/◀/▶ に押す」と表記しています。

マルチコントローラーをまっすぐ押すことを、「マルチコントローラー (FUNC./SET) を押す」と表記しています。

マルチコントローラーを ▲/▼/◀/▶ に動かすと、次の項目が表示できます。

①（マクロ）/ ▲（遠景）(p. 15)
②（ジャンプ） / ISO (ISO 感度)
（応用編 p. 65、応用編 p. 77）
③（ストロボ）（p. 14）
④（連写） / （セルフタイマー） /（1 画像消去）
（p. 16、p. 19、応用編 p. 37）

ランプの点滅について

カメラのランプは、以下の場合に赤色に点滅します。

・画像の記録、音声メモ / サウンドレコーダーの録音
・画像の読み出し
・画像の消去
・画像の転送（パソコン / プリンター接続時）

ランプが点滅しているときは、絶対に次のことを行わないでください。画像データが壊れることがあります。

・振動や衝撃を与える
・電源を切ったり、メモリーカードスロットカバーやバッテリーカバーを開ける

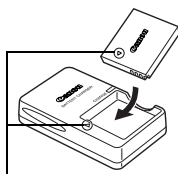
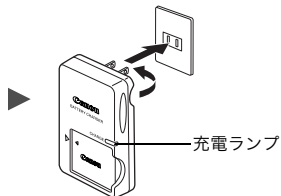
準備する

1. バッテリーを充電する

次のような場合に、バッテリーを充電してください。
・はじめて使用するとき
・「バッテリーを交換してください」とメッセージが表示されたとき

1. バッテリーチャージャーにバッテリーをセットする

2. コンセントに差し込む

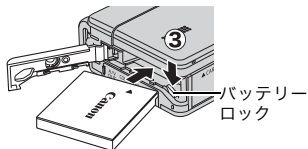
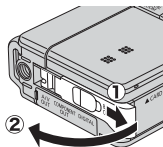
充電中は充電ランプが橙色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。約 1 時間 30 分で充電が終わります。

バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24 時間以上連続して充電しないでください。

応用編：バッテリーの取り扱い（p. 127）

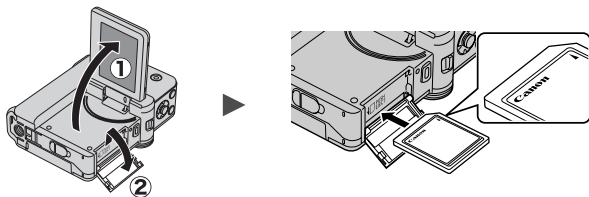
2. バッテリーを入れる

1. バッテリーカバーをスライドして開く（①、②）

2. バッテリーロックを矢印の方向に押しながら（③）、バッテリーがロックされるまで入れる

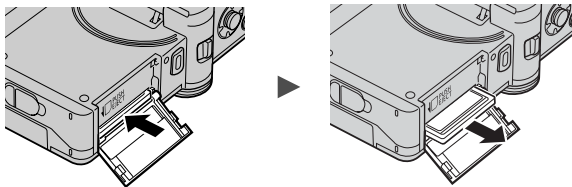
バッテリーを取り出すときは、バッテリーロックを矢印（③）の方向に押しながら取り出します。

3. バッテリーカバーを閉じる

3. メモリーカードを入れる

1. 液晶モニターを開く（①）
2. メモリーカードスロットカバーをスライドして開く（②）
3. メモリーカードを「カチッ」と音がするまで差し込む
4. メモリーカードスロットカバーを閉じる

メモリーカードは、必ず正しい向きでカメラに入れてください。誤って逆に入れた場合、カメラがメモリーカードを認識しなかったり、カメラの故障の原因となることがあります。

応用編：メモリーカードの取り扱い（p. 129）
応用編：メモリーカードを初期化する（p. 29）

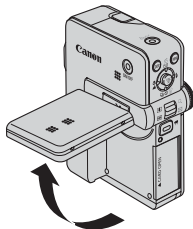
■メモリーカードを取り出すには

「カチッ」と音がするまで、指でメモリーカードを奥に押し込んで、放します。

このカメラでは、SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、マルチメディアカードおよび MMC*plus* カードをお使いになれます。このガイドでは、これらをメモリーカードと表記します。

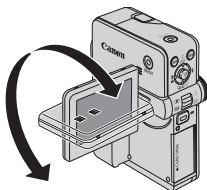
はじめてお使いの場合

■液晶モニターを開く

液晶モニターは次のように動かせます。

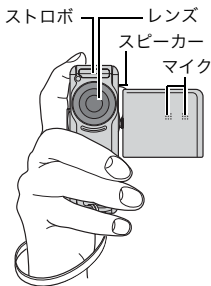
1. 液晶モニターを 90 度開く

2. 液晶モニターはレンズ側に 90 度、手前側に 180 度回転する

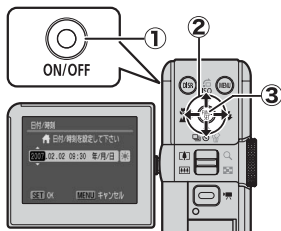
レンズ側に 90 度回転した場合は、画像が鏡像（左右反転）表示されます。

＊鏡像表示の設定は切ることができます。

応用編：液晶モニターの使いかた（p. 12）
応用編：撮影メニュー （p. 24）

■カメラの構えかた

シャッターボタンを押したときにカメラが動いてしまうと、不鮮明な画像になってしまいます。カメラが動かないように正しく構えてください。

レンズやストロボ、マイク、スピーカーに、指がかからないようにご注意ください。

カメラを使わないときは、液晶モニターを保護するために、必ず内側に向けて閉じてください。カチッと音がするまで閉じると、液晶モニターは自動的に消灯します。

■日付 / 時刻を合わせる

1. **電源スイッチを押す（①）（p. 10）**
2. **マルチコントローラーを←/→に押し、設定したい項目を選び、↑/↓に押して設定する（②）**
   サマータイムを設定する場合は、☀を選び、マルチコントローラーを ↑/↓ に押して設定します。
3. **正しい日時が表示されていることを確認し、マルチコントローラー（FUNC./SET）を押す（③）**
   設定メニューでも、日付 / 時刻を設定できます（p. 21）。

・カメラには、日付 / 時刻などの設定を保持するためのリチウム充電池が内蔵されています。カメラにバッテリーを入れたときに充電されますので、ご購入時に、バッテリーを4 時間程度入れておくか、AC アダプターキット ACK-DC10（別売）を使用して充電してください。カメラの電源が入っていなくても充電できます。
・バッテリーを取り出してから約 3 週間経過すると、設定した日付 / 時刻が解除される場合があります。再度、設定し直してください。

➔ 応用編：世界時計を設定する（p. 19）

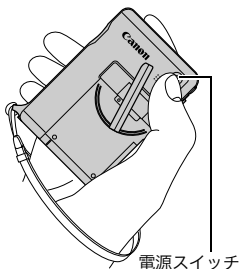
■メニューの表示言語を設定する

ご購入時は、日本語に設定されていますので、変更する必要はありません。

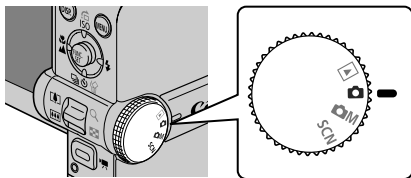
1. **モードダイヤルを▶（再生）にする**
2. **マルチコントローラー（FUNC./SET）を押しながら、MENU ボタンを押す**
3. **マルチコントローラーを ↑/↓/←/→ に押し、言語を選び、マルチコントローラー（FUNC./SET）を押す**
   設定メニューでも、表示言語を設定できます（p. 21）。

撮影する（静止画）

1. 電源スイッチを押す

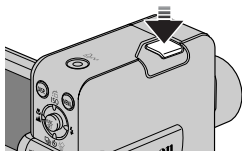
・起動音が鳴り、液晶モニターに起動画面が表示されます。電源ランプが緑色に点灯します。
・もう一度電源スイッチを押すと、電源が切れます。
・DISP. ボタンを押しながら電源スイッチを押すと、消音設定が［入］になり、警告音以外のすべての音が鳴らない設定になります。

電源を入れるとき、レンズに指がかからないようにご注意ください。

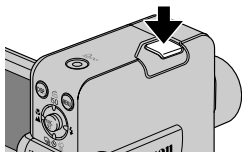
応用編：液晶モニターの使いかた（p. 12）
応用編：節電機能について（p. 18）
応用編：設定メニュー（p. 26）
応用編：マイカメラメニュー（p. 28）

2. モードダイヤルを（オート）にする

3. 被写体にカメラを向ける

4. ピントを合わせて撮影する

1. シャッターボタンを浅く押して(半押し)、ピントを合わせる

ピントが合うと電子音が「ピピッ」と 2 回鳴ります。また、液晶モニターには、ピントが合った位置に AF 枠が緑色で表示されます。

2. シャッターボタンを深く押して(全押し)、撮影する

シャッター音が鳴り、撮影されます。ランプが赤色に点滅し、メモリーカードに記録されます。

➔ランプの点滅について(p. 5)
➔応用編:手ぶれ補正を設定する(p. 32)
➔応用編:アスペクト比(縦横比)を設定する(p. 30)
➔応用編でいろいろな撮影方法をご確認ください。

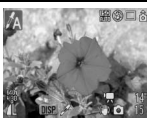
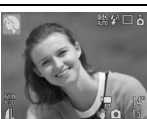
■撮影直後に画像を確認する

撮影直後に約 2 秒間、撮影した画像が表示されます。
次の方法で設定時間にかかわらず画像を表示し続けます。

・シャッターボタンを全押しし続ける
・撮影した画像が表示されている間に DISP. ボタンを押す、またはマルチコントローラーを操作する

画像表示の解除のしかた:シャッターボタンを半押しします。

➔応用編:撮影の確認(p. 24)
➔消去する(p. 19)

撮影モードを選ぶ

1. モードダイヤルを撮影したいモードにする(①)

■ M、SCNのとき

1. マルチコントローラー(FUNC./SET)を押す(②)
2. マルチコントローラーを◆/◆に押し(③)、撮影モードを選ぶ
3. マルチコントローラー(FUNC./SET)を押す(④)

■撮影モードの種類

オート

カメラまかせで撮影できます。

マニュアル

マニュアル

露出を補正したり、ホワイトバランス、マイカラー、ISO 感度などを自分で選んで撮影できます。

スーパーマクロ

マクロ（p. 15）よりさらに被写体に近づき、より大きく撮影できます。レンズ先端から被写体までの距離：0 ～ 10cm（ワイド端固定）。

応用編（p. 35）

ワンポイントカラー

画面内の指定した色以外を白黒にして撮影できます。

応用編（p. 60）

スイッチカラー

画面内の指定した色を別の色に変更して撮影できます。

応用編（p. 62）

スティッチアシスト

撮影した画像をパソコンで合成してパノラマ画像を作れます。

応用編（p. 45）

SCN スペシャルシーン

ポートレート

人物をやわらかい調子で撮影できます。

ナイトスナップ

夕暮れや夜景をバックに人物をスナップ撮影したいとき、三脚がなくても手ぶれを少なく撮影できます。

パーティー/室内

蛍光灯や電球のもとで、手ぶれをおさえて被写体に忠実な色味で撮影できます。

新緑 / 紅葉

新緑、紅葉、桜など、木々や葉を色鮮やかに撮影できます。

スノー

雪景色をバックにしても人物が暗くならず、青みも残らないで撮影できます。

ビーチ

太陽光の反射の強い海面や砂浜でも、人物などが暗くならずに撮影できます。

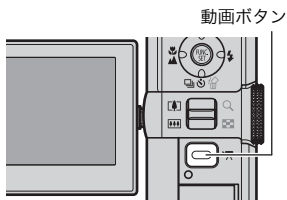
SCN スペシャルシーン	水族館 屋内の水槽内の魚などを撮影するのに適した感度、ホワイトバランス、色味に設定されます。
 動画	動画ボタンを押すだけで、動画を撮影できます（モードダイヤルを再生モードに設定している場合を除く）。 アスペクト比［16：9］、記録画素数［1280 × 720］で撮影すると、オリジナルのアスペクト比のまま、ハイビジョン対応のテレビに表示できます。 また、「ワンポイントカラー」、「スイッチカラー」と組み合わせても撮影できます。 応用編（p. 39）

、、、、では、撮影シーンによっては、ISO 感度が上がり、画像にノイズが増えることがあります。

撮影する（動画）

動画ボタンを押すだけで、動画を撮影できます（モードダイヤルを再生モードに設定している場合を除く）。

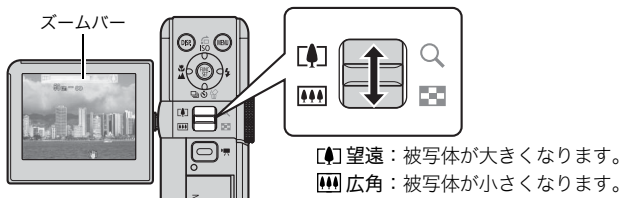
・1 回の最大記録容量は 4GB *です。
・音声はステレオで記録されます。
・再度動画ボタンを押すと、撮影が終了します。

*記録容量が 4GB に達していなくても、撮影時間が 1 時間に達した時点で記録を停止します。メモリーカードの容量、データ書き込み速度により、4GB または 1 時間に満たなくても記録を停止する場合があります。

ズームを使う

1. ズームレバーを 側、または 側に押す

35mm フィルム換算で、39 ～ 390mm（焦点距離）の範囲で画角を調節できます。ズーム操作中は、ズームバーの下に、AF の範囲を示す距離が表示されます（応用編 p. 27）。

望遠：被写体が大きくなります。

広角：被写体が小さくなります。

ストロボを使う

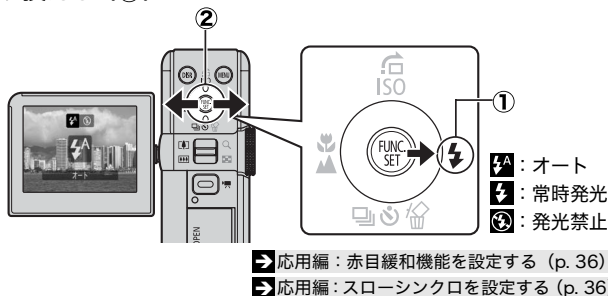
1. マルチコントローラーを 側に押し（①）、←/→ に押して切り換える（②）

：オート

：常時発光

：発光禁止

応用編：赤目緩和機能を設定する（p. 36）

応用編：スローシンクロを設定する（p. 36）

手ぶれ警告アイコン（ ）が表示されたときは、三脚などでカメラを固定して撮影することをおすすめします。

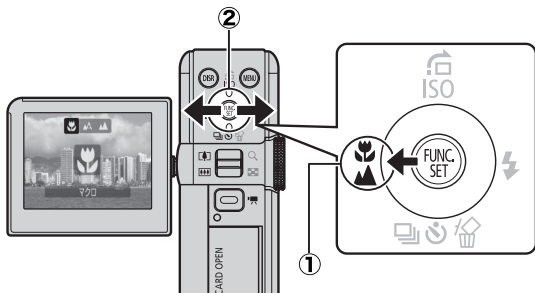
（オート）では、 は設定できません。

応用編：各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 152）

撮影モードを選ぶ（p. 11）

至近距離 / 遠距離で撮る

1. マルチコントローラーを/側に押し（①）、←/→に押して切り換える（②）

解除のしかた：マルチコントローラーを/側に押し、（通常）を選択します。

	至近距離（マクロ） 花や小さなものなどに近付いて大きく撮れます。 被写体に最も近付いたときの撮影範囲（撮影距離） ・ 最も広角側：104 × 77mm（レンズ先端から 10cm）
	遠距離（遠景） レンズ先端から被写体までの距離が3m以上離れているときに使います。

マクロモードでストロボを使う場合は、ストロボ撮影範囲を、応用編の p. 137 でご確認ください。

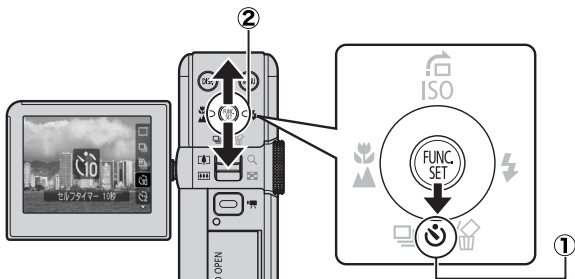
（オート）では、は設定できません。

→ 応用編：各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 152）
→ 撮影モードを選ぶ（p. 11）

セルフタイマーで撮る

1. マルチコントローラーを側に押し（①）、▲/▼に押して切り換える（②）

・シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーランプが点滅（赤目緩和機能設定時は、撮影の 2 秒前から点灯）します。

解除のしかた：マルチコントローラーを側に押し、を選択します。

	10 秒後：シャッターボタンを押してから、10 秒後に撮影します。 ・撮影の2秒前になるとセルフタイマー音が速く鳴り＊1、セルフタイマーランプの点滅も速くなります。
	2 秒後：シャッターボタンを押してから、2 秒後に撮影します。 ・シャッターボタンを押すと同時にセルフタイマー音が速く鳴り＊1、2 秒後に撮影されます。
	カスタム：セルフタイマーの開始時間（0 ～ 10＊2、15、20、30 秒後）や撮影枚数（1 ～ 3＊2 ～ 10 枚）を変更して撮影できます（p. 17）。 ・［時間］が 2 秒以上の場合、セルフタイマー音は撮影の 2 秒前から速く鳴ります＊1。［枚数］で複数画像を設定したときは、1 画像目の撮影時のみセルフタイマー音が鳴ります。

＊1 マイカメラコンテンツ（応用編 p. 111）の設定により異なります。
＊2 初期設定

撮影モードによっては、設定できないことがあります。

応用編：各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 152）
撮影モードを選ぶ（p. 11）

■撮影開始時間と撮影枚数を変更する（）

1. [（撮影）] メニュー▶[セルフタイマー]▶マルチコントローラー（FUNC./SET）を押す

➔メニューの表示と設定のしかた（p. 20）

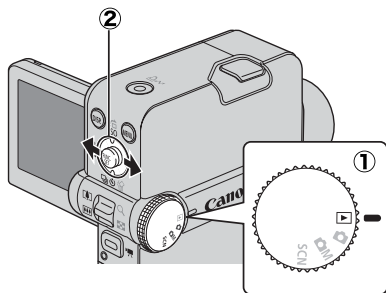
2. マルチコントローラーを▲/▼に押し、[時間] または [枚数] を選び、◀/▶に押して設定内容を変更し、マルチコントローラー（FUNC./SET）を押す

3. MENU ボタンを押す

［枚数］が 2 枚以上の場合、次のようになります。
- 1 画像目の撮影で、露出やホワイトバランスが固定されます。
- ストロボが発光するときは、撮影間隔が長くなります。
- カメラ内部のメモリーがいっぱいになると、撮影間隔が長くなることがあります。
- メモリーカードの容量がいっぱいになると自動的に撮影を終了します。

再生する

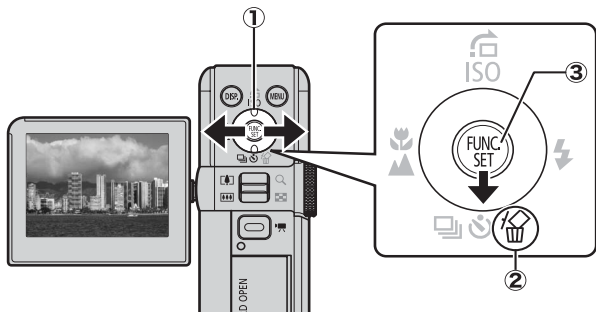
1. モードダイヤルを▶(再生）にする（①）

最後に撮影した画像が表示されます。ただし、一度再生した場合には、最後に再生した画像が表示されます（再生レジューム)。また、メモリーカードを交換したり、パソコンでメモリーカード内の画像を編集した場合は、最新画像を表示します。

2. マルチコントローラーを←/→に押し、見たい画像を表示する（②）

← に押すと前の画像、→ に押すと次の画像を表示します。← または → に押し続けると早く進みます。ただし、表示される画像は粗くなります。

応用編でいろいろな再生方法をご確認ください。

消去する

1. **再生モードのとき、マルチコントローラーを ◆/◆ に押し、消去したい画像を選び（①）、マルチコントローラーを 側に押す（②）**

2. **マルチコントローラーを ◆/◆ に押し、[消去] を選び、マルチコントローラー（FUNC./SET）を押す（③）**
操作を取り消すときは、[キャンセル] を選びます。

消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。

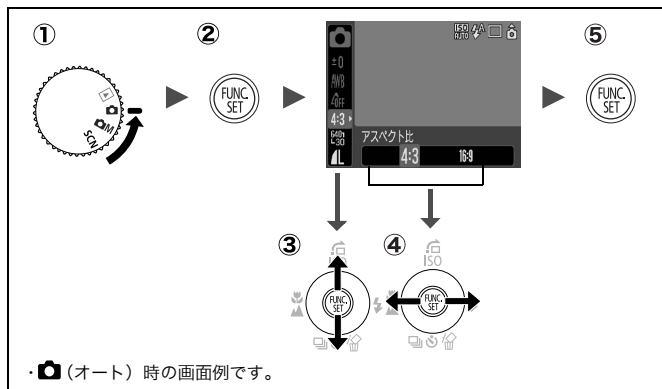
➔ 応用編：画像を消去する（p. 102）

メニューの表示と設定のしかた

撮影時や再生時の設定や、印刷の設定、日付 / 時刻、電子音などのカメラの設定は、FUNC. メニューまたは撮影 / 再生 / 印刷 / 設定 / マイカメラメニューを使って操作します。

FUNC. メニュー

撮影時に、よく使う機能を設定します。

・(オート)時の画面例です。

① モードダイヤルを、M または SCN にする

② マルチコントローラー(FUNC./SET)を押す

③ マルチコントローラーを ▲/▼ に押し、メニュー項目を選ぶ
- ・撮影モードによって、選択できないメニュー項目があります。

④ マルチコントローラーを ◀/▶ に押し、設定内容を選ぶ
- ・設定項目によっては、MENU ボタンでさらに変更できます。
- ・選択後、シャッターボタンを押してすぐに撮影できます。撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

⑤ マルチコントローラー(FUNC./SET)を押す

➔ 応用編:メニュー一覧(p. 24)

撮影 / 再生 / 印刷 / 設定 / マイカメラメニュー

撮影 / 再生 / 印刷時の便利な機能を設定します。

① MENU ボタンを押す

② マルチコントローラーを ←/→ に押し、メニューを切り換える
・ズームレバーでもメニューの切り換えができます。

③ マルチコントローラーを ↑/↓ に押し、メニュー項目を選ぶ
・撮影モードによって、表示されるメニュー項目が異なります。

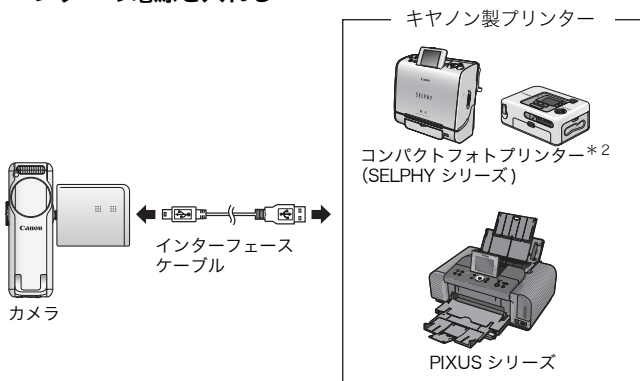
④ マルチコントローラーを ←/→ に押し、設定内容を選ぶ
・「. . . 」のある項目では、マルチコントローラー（FUNC./SET）を押して次のメニューを表示してから設定します。設定後、再度マルチコントローラー（FUNC./SET）を押して設定内容を確定します。

⑤ MENU ボタンを押す

→ 応用編：メニュー一覧 (p. 24)

印刷する

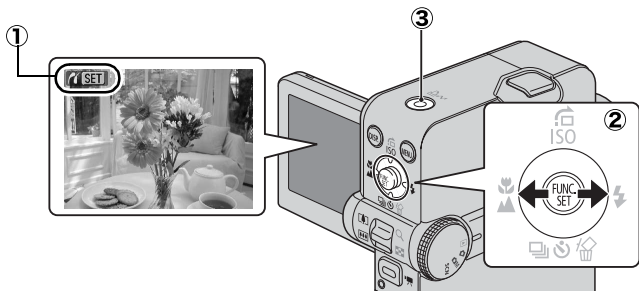
カメラとカメラダイレクト対応プリンター*[1]をケーブルで直接つなぎ、
🖨ボタンを押すだけで、簡単に印刷できます。

1. カメラとカメラダイレクト対応プリンターを接続し、プリンターの電源を入れる

＊1 このカメラは標準規格「PictBridge（ピクトブリッジ）」に対応していますので、キヤノン製プリンターだけでなく、キヤノン製以外の PictBridge 対応プリンターでも印刷できます。
＊2 カードフォトプリンター CP-10/CP-100/CP-200/CP-300 もお使いになれます。

2. カメラを再生モードにして電源を入れ、液晶モニター左上に、[icon]または[icon]、[icon]が表示されていることを確認する（①）

・[icon]ボタンが青色に点灯します。
・表示されるアイコンは、プリンターによって異なります。
・動画の場合、SET [icon] が表示されます。

3. マルチコントローラーを ←/→ に押し、印刷したい画像を選び（②）、[icon]ボタンを押す（③）

・[icon]ボタンが青く点滅し、印刷が始まります。

→ 応用編：DPOF の印刷指定（p. 104）
→ ダイレクトプリントユーザーガイド
→ お使いのプリンターの使用説明書

パソコンに画像を取り込む

カメラで撮影した画像をパソコンに取り込む方法は次のとおりです。お使いの OS によっては利用できない方法があります。あらかじめ「パソコンに必要なシステム構成（p. 25）」でご確認ください。

■カメラとパソコンを接続する

付属のソフトウェア	インストールする		インストールしない
取り込む方法	パソコンの操作	カメラの操作	パソコンの操作
Windows 2000	●	●	−
Windows XP	●	●	●
Windows Vista	●	●	●
Mac OS X	●	●	●

	インストールする（パソコンの操作・カメラの操作）	インストールしない（パソコンの操作）
パソコンに必要なシステム構成	・基本編（p. 25） ・ソフトウェアクイックガイド	
カメラとパソコンを接続する	・基本編（p. 26、27）	・基本編（p. 27）
パソコンに画像を取り込む	・基本編（p. 28 − 31） ・ソフトウェアクイックガイド	・ソフトウェアクイックガイド

■メモリーカードリーダーを利用する

上記のすべての OS でお使いになれます。ソフトウェアクイックガイドでご確認ください。

パソコンに必要なシステム構成

ソフトウェアは、以下の条件を満たすパソコンにインストールしてお使いください。

■Windows

OS	Windows 2000 Service Pack 4 Windows XP(Service Pack 1、Service Pack 2を含む) Windows Vista
機種	上記OSがプリインストールされていて、USBポートが標準装備されていること
CPU	Windows 2000 / Windows XP　:Pentium 500MHz以上 Windows Vista　:Pentium 1.3GHz以上
RAM	Windows 2000 / Windows XP　:256MB以上 Windows Vista　:512MB以上
インターフェース	USB
ハードディスク空き容量	●Canon Utilities ・ZoomBrowser EX　:200MB以上 ・PhotoStitch　:40MB以上 ●Canon Camera TWAIN Driver　:25MB以上
ディスプレイ	1,024×768ドット High Color(16bit)以上

■Macintosh

OS	Mac OS X(v10.3〜v10.4)
機種	上記OSがプリインストールされていて、USBポートが標準装備されていること
CPU	PowerPC G3/G4/G5またはIntel プロセッサー
RAM	256MB以上
インターフェース	USB
ハードディスク空き容量	●Canon Utilities ・ImageBrowser　:200MB以上 ・PhotoStitch　:40MB以上
ディスプレイ	1,024×768ドット 32,000色 以上

画像を取り込む準備をする

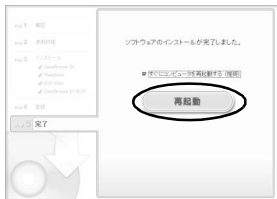
必ずソフトウェアをインストールしてから、カメラとパソコンを接続してください。

■用意するもの

・カメラとパソコン
・カメラに付属の「Canon Digital Camera Solution Disk」
・インターフェースケーブル（必ずカメラに付属のケーブルをお使いください。）

1. ソフトウェアをインストールする

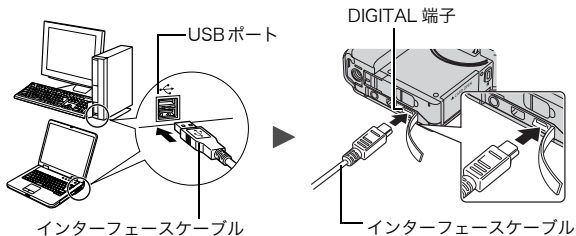
Windows

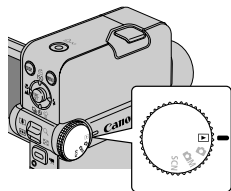
1. **Canon Digital Camera Solution Disk を CD-ROM ドライブにセットする**
2. **[おまかせインストール］をクリックする**
   表示されるメッセージにしたがって、インストールを進めます。
3. **インストールが終了したら、[再起動] または [完了] が表示されるので、表示されたボタンをクリックする**
4. **通常のデスクトップの画面が表示されたら、CD-ROM を取り出す**

Macintosh

CD-ROM 内の（ ）をダブルクリックすると右の画面が表示されます。
[インストール] を選択し、表示されるメッセージにしたがって、インストールを進めてください。

2. カメラとパソコンを接続する

1. 付属のインターフェースケーブルで、パソコンの USB ポートとカメラの DIGITAL 端子を接続する

カメラの端子カバーは、端に爪をかけて手前に開き、インターフェースケーブルを奥まで差し込みます。

2. カメラのモードダイヤルを▶（再生）にし、電源を入れる

カメラとパソコンが通信できる状態になります。

カメラの DIGITAL 端子からインターフェースケーブルを取り外すときは、必ず、コネクターの側面を持って取り外してください。

Windows

［デジタル署名が見つかりませんでした］と表示された場合は、［はい］をクリックしてください。接続が完了し、カメラとパソコンが通信できる状態になると、USB ドライバが自動的にパソコン内にインストールされます。

Windows パソコンに画像を取り込む

カメラとパソコンが通信できる状態になると、初期設定を行うウィンドウが表示されます。

1. [Canon CameraWindow]を選び、[OK]をクリックする(初回のみ)

右のウィンドウが表示されない場合は、[スタート]メニューから[すべてのプログラム]または[プログラム]▶[Canon Utilities]▶[CameraWindow]▶[PowerShot-IXY-IXUS-DV 6]▶[CameraWindow]をクリックします。

2. 画像を取り込む

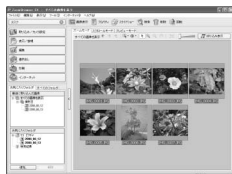
- 「カメラの操作」または「パソコンの操作」で画像を取り込みます。
- 初期設定では、[ピクチャ]または[マイピクチャ]フォルダに画像が取り込まれます。

カメラの操作で画像を取り込みます (p. 30)。

パソコンの操作で画像を取り込みます。初期設定では、まだ取り込まれていない画像がすべて取り込まれます。

取り込む画像の種類や保存先フォルダを設定できます。

ZoomBrowser EX のメインウィンドウに、取り込まれた画像のサムネイル(縮小された画像)が表示されます。初期設定では、パソコンに取り込まれた画像は、撮影日ごとにフォルダに保存されます。

Macintosh パソコンに画像を取り込む

カメラとパソコンが通信できる状態になると、次のウィンドウが表示されます。表示されない場合は、Dock（デスクトップ下部に表示されるバー）の［Canon CameraWindow］アイコンをクリックします。

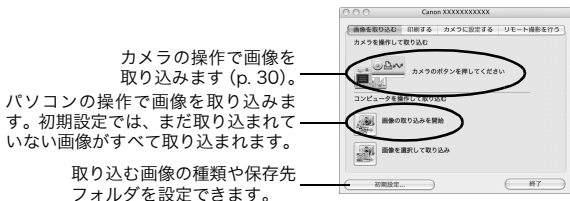
1. 画像を取り込む

・「カメラの操作」または「パソコンの操作」で画像を取り込みます。
・初期設定では、［ピクチャ］フォルダに画像が取り込まれます。

Canon XXXXXXXXXXX
画像を取り込む　印刷する　カメラに設定する　リモート撮影を行う
カメラを操作して取り込む
カメラのボタンを押してください
コンピュータを操作して取り込む
画像の取り込みを開始
画像を選択して取り込み
初期設定...　終了

カメラの操作で画像を取り込みます (p. 30)。

パソコンの操作で画像を取り込みます。初期設定では、まだ取り込まれていない画像がすべて取り込まれます。

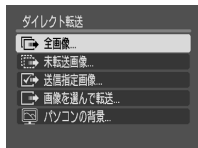
取り込む画像の種類や保存先フォルダを設定できます。

ImageBrowser のブラウザウィンドウに、取り込まれた画像のサムネイル（縮小された画像）が表示されます。初期設定では、パソコンに取り込まれた画像は、撮影日ごとにフォルダに保存されます。

カメラの操作で画像を取り込む（ダイレクト転送）

カメラの操作で画像を取り込めます。初めてダイレクト転送で画像を取り込むときは、付属のソフトウェアを最初にインストールし、パソコンの設定をしておいてください（p. 26）。

	全画像	すべての画像をパソコンに取り込み、保存します。
	未転送画像	まだ取り込んでいない画像だけをパソコンに取り込み、保存します。
	送信指定画像	送信指定した画像（応用編 p. 108）だけをパソコンに取り込み、保存します。
	画像を選んで転送	画像を見ながら 1 画像ずつパソコンに取り込み、保存します。
	パソコンの背景	画像を見ながら、パソコンのデスクトップの背景にしたい画像を取り込みます。取り込んだ画像は、パソコンのデスクトップに背景として表示されます。

1. カメラの液晶モニターにダイレクト転送画面が表示されていることを確認する

- ボタンが青色に点灯します。
- ダイレクト転送画面が表示されない場合は、MENU ボタンを押してください。

■［全画像］［未転送画像］［送信指定画像］のとき

2. 、、のいずれかを選び、ボタンを押す

- 画像が取り込まれます。取り込み中は、ボタンが青色に点滅します。取り込みが終了するとダイレクト転送画面に戻ります。
- 取り込みを中止するときは、マルチコントローラー (FUNC./SET) を押してキャンセルします。

■［画像を選んで転送］［パソコンの背景］のとき

2. ■または■を選び、ボタン（またはマルチコントローラー（FUNC./SET））を押す

3. 取り込みたい画像を選び、ボタン（またはマルチコントローラー（FUNC./SET））を押す

- 画像が取り込まれます。取り込み中は、ボタンが青色に点滅します。
- インデックス再生時（応用編 p. 75）も、画像を選べます。
- MENU ボタンを押してダイレクト転送画面に戻ります。

［パソコンの背景］の場合、JPEG 圧縮の画像のみが取り込まれます。Windows をお使いの場合は、BMP 画像が自動的に作られます。

ボタンで選択した項目は、カメラの電源を切っても記憶されます。次回、ダイレクト転送画面を表示したときは、前回設定した項目が選択されます。［画像を選んで転送］と［パソコンの背景］を選択していたときは、ただちに画像を選択する画面が表示されます。

安全上のご注意

本機器を使用する際は、けがや火災、感電などを防ぐため、下記の注意事項にしたがって、正しくお使いください。

カメラユーザーガイド（応用編）の「取り扱い上のご注意」も必ずお読みください。

⚠警告

- **ストロボを人の目に近付けて発光しないでください。**
- **お子様や幼児の手の届かないところに保管してください。**
- **落下などで、強い衝撃を与えないでください。カメラのストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。**
- **煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。**
- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**
- **指定外のバッテリーを使用しないでください。**
- **バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターの出力端子は本機器専用です。他のバッテリーや製品には、お使いにならないでください。**

⚠注意

- **ズボンやスカートの後ろポケットに本機器を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や液晶モニターの破損の原因となります。**